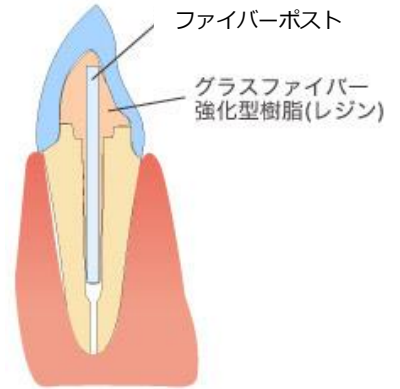


特集 | ファイバーポスト

ファイバーポストって何??

差し歯の土台を支える芯棒でグラスファイバー(繊維)からできているものです。天然の象牙質と同程度の硬さを持ち、曲げ強さもあり、歯の破折のリスクが下がり、色は白いので、被せ物の色に影響を与えず、審美的にも優れた材料です。今までは自費治療の扱いでしたが、2016年4月より保険治療で出来るようになりました。

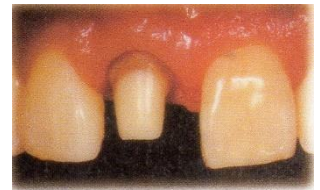


特徴 1 : 仕上がりがきれい

金属製のコア(土台)は全く光を透過しないのに対し、ファイバーポストは歯に似た光の透過性があります。そのため、金属の色が歯ぐきを透過して見える黒ずみの心配がなく、仕上がりがきれいです。



金属の土台を使用

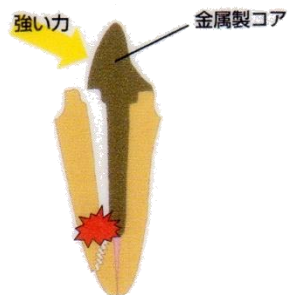


ファイバーポストの周りにレジンを盛り上げて作った土台

特徴 2 : 歯にやさしい

天然歯はもともと強い力が加わるとうまい具合にたわみ、力を分散させて歯を破折から守る性質を持っています。それに対して金属は歯に比べて格段に硬く、力が加わってもたわみません。金属を芯棒に使うと、それ自体は丈夫で耐久性があり、優れているのですが、いざ、強い力が加わった時に歯と一緒にたわんでくれず、歯をくさびの様に縦に割ってしまうことがあり、抜歯の一因になっていました。こうした力によるダメージの改善策としてファイバーポストが使われています。

ファイバーポストの弾性は象牙質に近く、そのため歯と一緒にたわみ、元に戻ることが出来ます。そのためファイバーポストを芯棒にすると、歯の破折を予防する効果があるのです。また、もし強い力が加かって支台歯が壊れたとしても、縦割れよりも水平的に割れることが多いので、抜歯をせずに再治療できる可能性が高くなります。



特徴 3 : 金属を使わない

土台から被せ物まで、金属を一切使わずに修復できるので、金属アレルギーの心配がありません。



ファイバーポストと金属コア メリット・デメリット

	ファイバーポストが入った レジンコア	金属のコア
歯を割れにくくする	◎	△
歯質を多く削らずにすむ	◎	×
材料に強度がある	△	◎
しなやかさがある	○	×
水分でふやけない	×	◎
仕上りが美しい	○	×
歯ぐきが着色しにくい	○	△
再治療が比較的しやすい	○	△
金属アレルギーの心配がない	○	×

第2回 山本美智子展のお知らせ

皆様に支えられた初めての個展から2年、震災の復興支援として少しでもお力になればと、第2回目の個展を開かせていただきます。チャリティーに賛同して下さった半田紀子様はじめ、他の方々のお力添えも頂きました。ミニコンサートや講演もありますので、お気軽にお出かけ頂けたら幸いに存じます。

日時：平成28年8月9日(火)～14日(日) 11:00～18:00(最終日は16:00まで)

会場：銀座清月堂画廊2階

理事長コラム (二十)

海外旅行と体調管理

私は同世代の男性の中では海外旅行が好きで、先月末には院長の妻と共にクロアチアを中心とする中欧3か国八日間のバックツアーに出かけ、新知識の吸収とともにリフレッシュができました。そもそも私の海外旅行デビューは約四十年前の三十二歳のハワイでした。既に国内の観光は大学生時代から一通り終えていたもので、次は海外との思いがありました。当時、医科歯科大学病院に勤務していましたが、国家公務員は海外出張に際しては当該施設庁の許可が必要という時代でした。その後は三か月間の旧・西ドイツ短期留学を含め、国際学会発表や家族旅行の併行で今回が五十四回目となり、四十四の国と地域を訪問しました。一方で、欧米への旅行では特に帰国後の「時差ぼけ」がつきもので、昔はそれ自体を話すのが自慢の種のような面もありましたが、睡眠リズムが正常に回復するためには結局、旅行期間の二倍ほど要することをずっと続けてきました。

昨年末、私に続いて妻も七十歳の古稀になるのを機会にこれまでのエコノミークラスからビジネスクラスによる旅行を選択してベトナムのハノイを訪問したところ、搭乗前からのラウンジでの静養、搭乗中の安静や快適な睡眠の確保ができ、結局は帰国後の診療にも無理なく戻れることがわかりました。今回の中欧旅行は二回目のビジネスクラス利用でしたが、必要に応じて水平位で睡眠できることは長旅にはさらなるメリットがあることを自覚できました。若い時代にはエコノミークラスの利用は当然と思ってきましたが、七十歳を過ぎた今は旅行中、後の体調管理を最優先にし、帰国直後から最善の診療を患者さんに提供できるビジネスクラス利用での海外旅行をしたいと願っています。

